

福島県立橘高等学校 学校経営・運営ビジョン【令和7年度】



教育目標

教育基本法並びに学校教育法に基づき、個性を伸ばし自主的な精神を養い、社会性と実践力を育て、真理を探究する精神と豊かな情操とを培い、国家及び社会の有為な形成者を育成する。

校訓「自主・自律・自立」

～ 4つの「自」について ～ 校長 佐藤 秀美

本校は、「自由な気風・校風」の中で、「自主・自律・自立」の精神を備えた人材の育成を目指しています。

- ① 自分で考え、自分で決断し、自ら積極的に参加・実行し、創造しようとする生徒（自主）
- ② 自分の意思で、自分に課した普遍的命令に自分が服し、恣意・放縦を排除する生徒（自律）
- ③ 互いを独立した個人として尊重し、知性と個性を磨き合い、未来に羽ばたいていく生徒（自立）

教職員は、生徒の無限の可能性を信じ、生徒一人ひとりに寄り添いながら様々な指導を行うことにより、生徒が進路目標実現に向けて自分自身を成長させていくのを全力で支援します。

また、教職員はその職責を自覚し、自己研鑽に励むとともに不祥事の防止に努めます。

【 スクール・ミッション 】

高校の存在意義

「自主・自律・自立」の精神のもと、県北地区の進学指導重点校に位置する普通科の高校

期待される社会的役割

自由な気風のもと知性と個性を磨き、思考力・決断力・創造力を身に付けた各分野のリーダーとして社会の発展に貢献できる人材を育成する学校

目指すべき学校像

質の高い授業の実践と「橘探究ゼミ」などの教育活動や教育、保健・医療をはじめとした諸分野への関心を高める取組を通して、新しい時代に活躍できる人材を輩出することにより地域の期待に応える学校

【 スクール・ポリシー 】

○ グラデュエーション・ポリシー（卒業までに育てたい生徒像） 「自主・自律・自立」を体現する生徒

- ・自らを客観的に見つめ、常に自分自身を高めようとする意欲・向上心を持ち、掲げた目標を達成できる力を備えた生徒
- ・多様な他者と関わり、機会をとらえて、自分の興味・関心のある事物に対する学びを深めようとする生徒
- ・礼節と規律、基本的な生活習慣を身に付け、自己の言動を自ら律することのできる規範意識を備えた生徒
- ・共感的・協働的な視点で他者と関わり、自他を尊重できる生徒

○ カリキュラム・ポリシー（高校で行う教育活動）

- ・「自主・自律・自立」を体現する基盤となる基本的な生活態度の育成
- ・興味・関心を高め、意欲を喚起する質の高い授業
- ・高い志と持続的な向上心を育成する、協働的・探究的な視点に立った学びや進路行事
- ・他者と関わり、多様な側面から自己と他者について考える視点を育てるための、自主的・積極的な生徒会活動や部活動、ホームルーム活動等

○ アドミッション・ポリシー（高校で求める生徒像）

- ・3年間での目標を持ち、その達成に向けた取組をはじめとして着実に努力できる生徒
- ・知的好奇心が豊かで、自ら学び考えようという意欲を持って積極的に学習に取り組む生徒
- ・向上心を持ち、自己の成長に向けて部活動・生徒会活動・地域活動等に積極的に挑戦する生徒
- ・自己のみならず、他者に対しても共感的な姿勢で接することができる生徒

【 重点努力目標 】

■ 質の高い授業の創造

～「授業第一主義」の実践～

- ① 事象への興味・関心を高め、学習意欲を喚起する授業の実践に努める。
- ② 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導法の研究・改善に努める。
- ③ 「教育コース」と「保健・医療コース」のプログラムの充実と発展に努める。
- ④ 自主的学習習慣の定着を徹底する。
- ⑤ 「開かれた学校づくり」に努める。

◇基礎学力の定着を図る。
◇ICT活用を含めて質の高い授業を目指し、教員相互の授業参観を推進する。
◇学校ホームページ等を活用して、外部への情報発信を積極的に行う。
◇学年保護者会や保護者向けの進路講演会を充実させる。
◇PTA会報や学年だよりを発行し、保護者との緊密な連携・協力を努める。

■ 質の高い文化の創造

～文武両道の実践と知徳体の調和～

- ① 礼節と規律を重んずる生活態度を養い、客観的な自己観察眼を養成する。
- ② 生徒一人ひとりの「心のケア」と「レジリエンスの醸成」に務める。
- ③ 特別活動・部活動等への意欲的・積極的参加を促し、活動を活性化させる。
- ④ 事故の未然防止に努め、安全教育や訓練を積極的に推進する。

◇挨拶を励行するとともに、遅刻指導や髪型・服装指導等を通じて節度ある行動がとれるようにする。
◇スクールカウンセラーとの連携を密にし、教育相談体制のさらなる充実を図るとともに、特別支援教育に対する理解を深める。
◇部活動では、上位大会への出場を目指す。
◇「たちばな文化」の継承と発展を図る。
◇安全教育を推進する。

■ 進路目標の実現

～高い志と自ら学び考える力の育成～

- ① 生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、高い志と使命感に基づいた持続的な向上心を育成する。
- ② 進路目標実現に向けた学力の向上に努める。
- ③ 進路情報の発信に努め、情報の共有化を図る。

◇高い志を持たせ、持続させるための取組みの充実を図る。
◇読書活動の充実を努める。
◇「総合的な探究の時間」を活用し、進路意識を高めさせる。
◇計画的・組織的な小論文指導及び難関大学入試に対応した個別指導の充実を努める。
◇二者面談・三者面談等の進路相談を充実させる。